

## 11月18日の日本株の急落について

ポジション主導の調整、日本株の中期的な見通しは引き続き良好

2025年11月18日

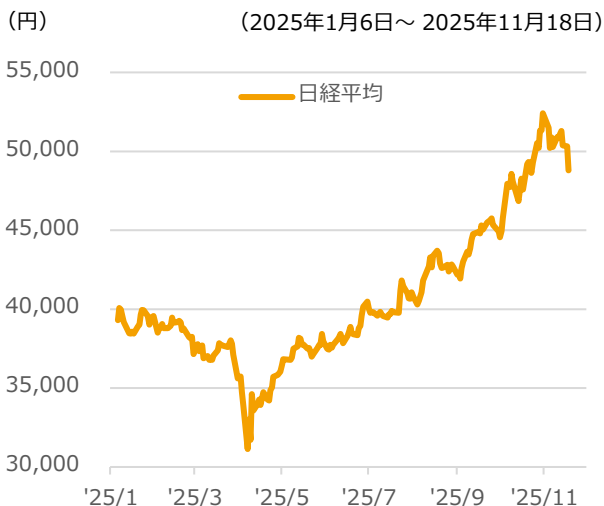
### 日経平均は5万円割れとなったが、ファンダメンタルズは良好

11月18日の日経平均株価は前日比1,620円（3.2%）安となりました。10月27日に初めて5万円超えとなってから、終値で5万円を割り込むのは初めてです。米国株式市場でのAI・ハイテク株を中心とした株安が波及し、下落して寄り付いた日経平均は、取引時間中に下落幅を広げました。

日経平均は10月に月間で7,478円（約17%）も上昇、過去最大の上げ幅を記録していました。AIテーマへの懐疑的な見方が台頭する中、FRB（連邦準備制度理事会）高官による利下げに慎重な発言が続いており、19日（水）の米エヌビディアの決算や20日（木）の米雇用統計発表といった重要イベント前に、ポジション調整が広がったとみられます。個別では、株価上昇率が高かったモメンタム株が特に大きく売られました。25日移動平均線を大きく割り込んだことも意識されたとみられます。

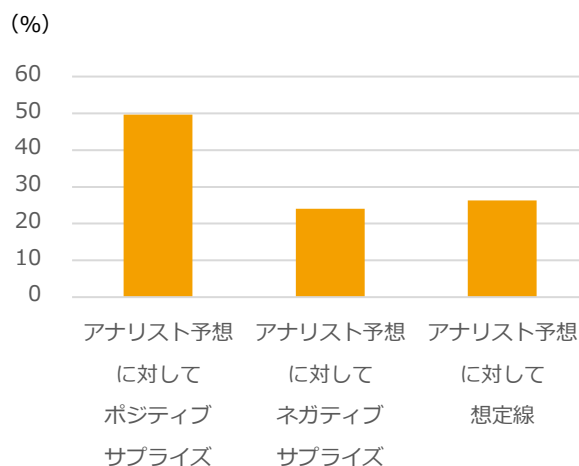
11月5日付マーケットレターで述べたように、日本株はこれまでの上昇速度が速かった分、短期的にはボラティリティが高まる可能性があります。一方、ファンダメンタルズは良好です。7-9月決算では、実績がアナリスト事前予想を上回った銘柄が優勢となり、通期会社計画も上方修正が目立ちました。好決算を反映し、TOPIXの2026年度EPS予想（コンセンサス）は上方修正されています。堅調な企業業績に加え、ガバナンス改革や政治への期待を背景に、当社は日本株の中期的な見通しは引き続き良好と考えています。

#### 日経平均の推移



(出所) ブルームバーグ

#### 7-9月決算は良好な結果



※アナリスト予想から5%以上乖離した場合にサプライズとして集計、3月決算期のTOPIX500構成企業を対象、11月17日時点。

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目録見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management